

じょうろん
序論（レムナントデイの序論から）

かみさま えら
神様→選び（エペソ 1:4）

わたし かみさま えら かみ たみ えら
私たちは、神様から選ばれた神の民です。いつ選ばれたのでしょうか。それは、創造の前からです。

み
エペソ 1:4 を見ると

かみ わたし せ かい も とい お まえ かれ えら み ま え きよ きず
神は私 たちを世界の 基の置かれる前（キリスト）にあって選び、御前で聖く、傷
もの
のない者にしようとされました。

い
と言われています。世界の 基の置かれる前（創造の前、この世を造られる前）に、神様
わたし
は私 たちを「神の子ども、神の民」として選んでくださっていたのです。

えら わたし かみさま し
そのように選ばれた 私 たちのことを、神様はすべてを知っておられ、この時代に、このところに置いてくださったのです。

わたし かてい かけい はいけい せいかつ ししつ ちょうしょたんしよ し わたし
私 たちひとりひとりの家庭、家系、背景、生活、資質、長 所短所など、すべてを知っておられ、私 たちを、
いまのところに置いてくださいました。私 たちの家庭、通っている学校、通っている教会、住んでいる地域、
くに
国など、すべて神様がご存じで、神様がすべてを備えて 私 たちを召してくださいました。



かみ さくひん
神の作品（エペソ 2:10）

かみさま さくひん い
そのことを、エペソ 2:10 では「神様の作品」だと言われています。

エペソ 2:10

わたし かみ さくひん よ おこ
私 たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造
られたのです。神は、私 たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあら
そな
かじめ備えてくださったのです。

よ おこ
ここで「良い行ない」ということばが出て来ます。「良い行ない」というのは、わる
せいじつ い
誠実に生きることを言うものではありません。聖書が言っている「良い行ない」というのは、「ただ神様の栄光
あらわ
を現すこと」です。

かみさま えいこう
神様の栄光をいちばんよく 現すのは、

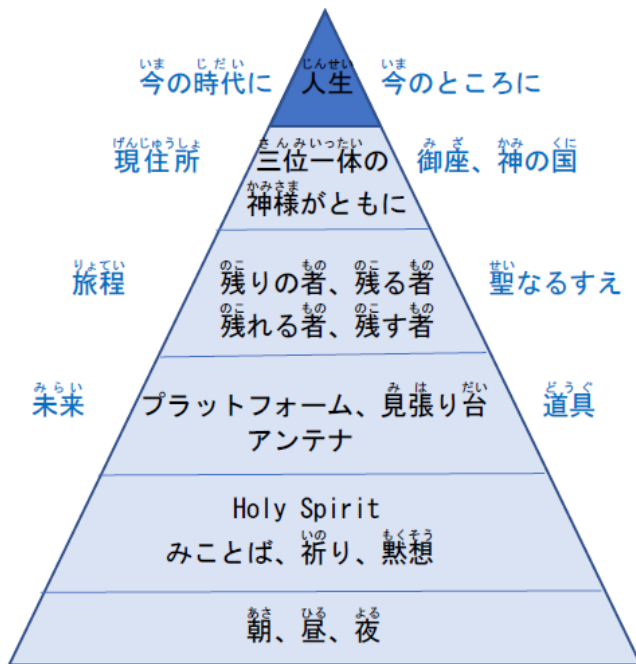
しゅ すく めし わたし じんせい とお こくはく
イエスがキリストであること、主であること、救い主であることを私 たちの人生を通して告白し、あかし
することです。

よ おこ
その良い行ないのために、私 たちは「神の作品」として創造の前から選んでくださったのです。



エペソ1章、2章を見ると、多くの所に「キリストの内に」「キリストにおいて」「キリストにあって」「キリストの中で」「キリストによって」ということばを見ることができます。それは、「私たちの人生すべてが、ただイエス様のための人生」であることを語っているのです。

「私たちはただイエス・キリストを現す、神の作品」であることを覚えましょう。



「今の時代に」「今のところに」私たちを置いてくださいました。

ただ置かれたのではなく、私たちの現住所は、三位一体の神様がともにおられ、私たちの中に、神の御座、神の国があるのです。

ここから始まります。もともと「ちり（土）」であった私たちの中に主の霊を入れてくださって、私たちは「生き物」になりました。私たちは、神様とともにいることができる幸いな祝福を受けた者です。私たちの人生の始まりは、そこから始まります。

神様がともにいてくださり、荒野のようなこの時代、世界に、私たちを通して契約の旅程を歩むようにしてくださいました。それが「残りの者、残る者、残れる者、残す者」です。

（今回のリーダー修練会のメッセージです）

ここで重要なことは、イザヤ6:13の最後書いてある「聖なるすえこそ、切り株」ということばです。私たちが「残りの者」としてこの時代に用いられるのは、私たちの中に聖なる「種＝すえ」であるキリストがともにおられるから可能なのです。

そのような契約の旅程を歩むときに、「神の作品」として、未来を生かす「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」として、立ててくださいました。すべてが神様の御手の中にある「道具」です。ただイエス・キリスト、神の国を現すための道具です。「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」は、そのもの自体がなにかできるものではありません。それを通して「神様がなさろうとすることがあるので、それぞれの所に「プラットフォーム、見張り台、アンテナ」として立ててくださったのです。

私たちがなにかをすることによって、神様が私たちの人生を変えて行かれるわけではありません。すべてが備えられた内に、道具として用いられ、ただキリストを現す者としてくださったのです。それを忘れないようにしましょう。

わたし たちがよく べんきょう 勉強をして、せいこう 成功して、た くさんの おかね 金をもうけて 神の国のために なにかが できるの ではなく、ただ 神様が ともにおられる ことによって、 私たちの それぞれの 人生が 用いられる のです。



ここで 重要な のが、ホーリー スピリット **Holy Spirit** です。メッセージでは「Holyとは 区別された という意味」だと 語られました。なぜ 区別された のでしょうか。私 たちの中に 聖霊が入って 来られて、ともに おられる ゆえに、私 たちは 区別された 者となった のです。イエス様が「わたしが 行くの が良い。そうであってこそ、約束された 聖霊が あなたが たに 送られる」と 言われました。それゆえ、いまの 時代を「聖霊の時代」と 言います。

聖霊様が 私 たちの中におられ、私 たちをとおして 神様が なさろうと することが、**聖霊によって できる**のです。なににも できない 私 たちの中に 聖霊が 臨みました。それによって、なににか 成される ようになりました。それなら、それは 私自身 がしたのではなく、聖霊様が なさった ということです。

そこで、**朝**（いちにちを 準備すること）、**昼**（いちにちを 過ごすこと）、**夜**（いちにちを 終えること）、すべてが 神様の中 で、聖霊の 導きの中にある ことを 信じましょう。

これが、9月学院福音化の1～4課の基準です。

三位一体の神様がともにおられ、私 たちをとおして 契約の旅をともに 歩んでくださり、未来を生かす 道具として 用いてくださっている ということです。私自身 が なにかが できるのではなく、神様が すべてを 備えてくださっている こと、それが 9月の学院福音化のメッセージの 核心の内容です。